

火災の本質と安全な避難方法

火災の真の脅威は炎ではなく**煙と熱**です。視界ゼロ・高温・有毒ガス（COなど）が数分で致死レベルに達し、階段や吹き抜けは「煙突化」して急速に広がります。そのため、早期避難が最優先事項となります。

ドアの開閉や誤った換気がフラッシュオーバー／バックドラフトを誘発する可能性があるため、火元方向の扉をむやみに開けず、煙と熱の兆候を読むことが重要です。黒煙や爆発音は、可燃性ガスの蓄積や構造条件の悪化を示すサインとなります。

個人の避難原則

- 低姿勢で移動する
- 口鼻をタオル等で覆う
- 階段で避難（エレベーター禁止）
- ドアは触って温度確認してから開ける

道頓堀火災の教訓

2025年8月18日の道頓堀火災では、2名の消防隊員が殉職し、複数が煙吸入等で搬送されました。都市の雑居ビル火災は短時間でエリア災害化し、隣接ビル延焼・煙の滞留・崩落リスクが同時多発します。



気道熱傷（吸入傷害）の理解と対応

吸入傷害の機序

火災では、**上気道（声門より上）**は主に「熱」で損傷し、**下気道・肺**は煙中の化学物質で損傷します。例外的に**蒸気（スチーム）**は熱量が大きく、声門より下まで熱傷を起こし得ます。

吸入傷害は時間とともに**浮腫が進行**します（しばしば**6-24時間**）。初期に軽く見えても後で悪化しやすいのが特徴です。

疑うべきサイン（現場～救急外来まで）

- | | | |
|---|--|---|
|  顔面・口周囲の熱傷／鼻毛の焦げ／口腔・鼻腔の煤（黒いすす） |  嘔声・咽頭痛・嚥下困難・喘鳴（ストライダー）／黒色痰 |  密閉空間での被災歴 |
|---|--|---|

なお、古典的サイン（鼻毛の焦げ等）は"必要条件"ではなく、あってもなくても油断禁物です。迷ったら**早期の気道確保を検討**、というのが救急・熱傷医療の基本姿勢です。

一般人・同僚ができる一次対応（119通報までの数分）

1. **まず煙から離す**（屋外・上風側へ）
2. **119通報**／意識・呼吸の確認
3. **座位で安静**（仰臥位は気道閉塞を悪化させることがある）
4. **口飲水や食事はNG**（誤嚥リスク）
5. 口鼻を布で覆うのは**"時間稼ぎの補助"**に過ぎず、一酸化炭素（CO）などの有毒ガスは**ほぼ素通り**します



普段からの「火災・煙」対策チェック

共通（最重要）

- 住宅用火災警報器の設置・定期点検
- 避難経路の確保と訓練：複数ルートを共有
- 煙対策の行動原則：低姿勢で移動、口鼻を覆う

家庭での対策

- 就寝階と階段に警報器、消火器の設置
- 台所まわりの**油汚れ・換気ダクト**の定期清掃
- 懐中電灯とホイッスルを避難リュックへ

職場・店舗での対策

- 防火管理体制の整備・訓練と日常点検
- 区画・扉の健全性：防火戸の管理
- 厨房ダクト・排気の**定期清掃と記録**

建物管理側の責任

防火区画・防火戸の維持（自閉機能・閉鎖徹底）、特別避難階段の確保、厨房ダクト等の清掃・点検、避難訓練と多言語案内、エレベーター停止運用―を**日常業務に組み込む**ことが重要です。

⚠ **防煙フードについての注意点**：市販の防煙フードは"時間稼ぎの補助具"に過ぎません。製品により**CO対応の有無が異なる**ため、規格と仕様を確認してください。商品や状況によっては顔面熱傷などの危険も伴いますので、事前に安心安全な防煙フードなのかを確認しましょう。

装備より先に**訓練と早期避難**を優先しましょう。

防災・防犯グッズ総合ショップ

Be-kan 備館

<https://www.be-kan.com/>

株式会社Be-kan

所在地

本社

〒105-0014

東京都港区芝3-1-15（芝ポートビル9F）

Web事業

〒106-0041

東京都港区麻布台1-9-10 飯倉ITビル10F

地営業時間：平日10:00～17:00（土日祝は除く）

メールアドレス：nfo@be-kan.com

FAX：03-6230-9968

お問い合わせ

[問い合わせフォームはこちら](#)

サービス紹介

Webマーケティング/EC事業

防災、災害対策用品/企画/販売

消防設備設計/施工

消防設備法令点検/防火対象物点検/建築12条点検

火災リスク診断/BCPコンサルティング

ドローン事業/各種点検/空撮/機体、関連機材販売

ドローン防災事業/緊急物資運搬

映像制作

加入団体

日本核シェルター協会(備蓄品研究部会/部会長)

一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会

防災DX協議会(デジタル庁)、ほか

資本金

2,000万円

ホームページ

<https://be-kan.co.jp/>